



当社グループにおける再発防止の進捗について
(第8回)

2025年3月25日

日本軽金属ホールディングス株式会社

1. 調査結果および再発防止の報告・共有

(1) 従業員説明

(2) 顧客説明

(3) 責任の所在

(4) 未調査事業所の調査

2. 経営改革の推進

(1) グループ・ガバナンス体制の再構築 - グループ連携の強化

(2) 当社とグループ会社の関係再構築

(3) グループでの経営課題・リスクへの対処

(4) 営業・開発・製造・品質保証・各部門による組織横断的な対応

(5) 品質保証体制の再構築

① 当社品質保証体制の強化

② 品質監査の強化

③ グループ全体での品質保証体制の強化と整備

④ グループ子会社間の協力と相互牽制の体制整備 ※④については③と統合

⑤ 品質保証機能への経営資源投下

(6) 不断の検証

(7) 当社取締役会による監督強化

3. 内部統制機能の強化

(1) 取締役会の監督のもとでの、実行的な内部統制システム構築・運用

(2) 企業風土の改革

(3) 情報の報告・連携の強化

(4) コンプライアンス強化活動の推進

(5) 内部監査部門の強化

(6) 内部通報制度改革

(7) 外部リソースの活用

再発防止策概要

再発防止策概要の詳細につきましては、添付資料「[表2] 再発防止の進捗（2025年3月版）」をご参照ください。

【進捗状況凡例】 「完了」対策が完了または実施項目を精査の上、運用開始を確認したものは **完了** (2025年3月報告(第8回)にて完了したもの)
 「実施中」対策を開始し実施中、今後範囲・定着状況確認(10項目)
 「検討中」対策の方向性・内容等を検討中

【完了目標】 見直し・更新・訂正した項目を **オレンジ色** にて記載

経営改革の推進

(1) グループ・ガバナンス体制の再構築 -グループ連携の強化-	【進捗状況】	【完了目標】
子会社のグルーピング	完了	2025年3月
(5) 品質保証体制の再構築		
③ グループ全体での品質保証体制の強化と整備 体制・ルールの整備	完了	2025年3月
⑤ 品質保証機能への経営資源投下 適正人員の把握の指導・支援 検査機器の自動化推進	実施中 実施中	2025年4月 2026年3月
(6) 不断の検証		
再発防止策の検証 進捗管理および効果検証、進捗状況の公表	実施中	2026年3月

(7) 当社取締役会による監督強化	【進捗状況】	【完了目標】
計画的な後継者育成・登用 取締役会運営面での改善	<div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center;">完了</div> 実施中	2025年3月 2025年6月

内部統制機能の強化

(2) 企業風土の改革		
② 新しい企業理念が役職員へ浸透、定着するための取組み 経営者-従業員の対話（拠点長会議・職場行脚） 浸透、定着のモニタリング（匿名従業員サーベイ3回目以降） ③ 忌憚なく声を上げられる風土づくり 経営者-従業員の対話（拠点長会議・職場行脚） ④ 企業風土改革のモニタリング 匿名従業員サーベイ（第4回以降）	実施中 <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center;">完了</div> 実施中 <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center;">完了</div>	2026年3月 2025年3月 2026年3月 2025年3月
(3) 情報の報告・連携の強化		
① 声を上げる会議（拠点長会議） ② 社長と従業員の対話（職場行脚） ③ コンプライアンス・ミーティングの活性化 ⑥ 管理職への研修強化（学習管理システム導入等、e-ラーニング開始）	実施中 実施中 <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center;">完了</div> <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center;">完了</div>	2026年3月 2026年3月 2025年3月 2025年3月
(5) 内部監査部門の強化		
第3ラインによる第1・第2ラインの監査	実施中	2026年3月

当社グループは会社報告書（2023年3月29日公表）に掲げた経営改革の推進と内部統制機能の強化を柱とする当社グループの再発防止（2023年4月～2026年3月完了予定）に全力で取り組んでおります。

2025年3月25日時点において、130項目にわたる再発防止の課題のうち111項目が完了いたしました。残る課題につきましても着実に実施し、ステークホルダーの皆様の信頼回復に努めてまいります。新生チーム日軽金として生まれ変わるべく強い覚悟をもって完遂いたします。

再発防止策概要の詳細につきましては、添付資料「[表2] 再発防止の進捗（2025年3月版）」をご参照ください。

1. 調査結果および再発防止の報告・共有

現状総括

最終年度課題

(1) 従業員説明



定期的に拠点長会議や職場行脚を実施し、従業員と経営層との共有推進

(2) 顧客説明



214件の不適切行為の是正が完了し、お客様に安全性の判断をいただいた

(3) 責任の所在



不適切行為に関連した処分は完了

(4) 未調査事業所の調査



13拠点にて実施



箔事業グループの未調査事業所の実施
※箔事業統合の中止決定により2025年度に調査実施予定

2. 経営改革の推進

現状総括

最終年度課題

- (1) グループ・ガバナンス体制の再構築 - グループ連携の強化
- (2) 当社とグループ会社の関係再構築
- (3) グループでの経営課題・リスクへの対処
- (4) 営業・開発・製造・品質保証・各部門による組織横断的な対応



2024年4月より企業価値向上を目的とした事業・機能組織のグルーピングをスタートし、組織構造の変革を推進（事業ポートフォリオの最適化、評価・報酬制度の見直し、グループ人材育成策定）を実施

(5) 品質保証体制の再構築

- ① 当社品質保証体制の強化
- ② 品質監査の強化
- ③ グループ全体での品質保証体制の強化と整備
- ④ グループ子会社間の協力と相互牽制の体制整備 ※④については③と統合
- ⑤ 品質保証機能への経営資源投下



品質保証統括室を中心に品質監査の強化、体制の独立性と権限の強化、経営資源投下による品質保証部門の適正要員の検証と配置（外注マネジメントシステムの導入済）、検査機器の自動化推進を実施中

(6) 不断の検証



改革推進室の設置、従業員サーベイの継続実施中



ステークホルダーへの進捗情報公表継続

(7) 当社取締役会による監督強化



コーポレートガバナンス・コードの原則に従い社長後継者計画の策定を示し、運用開始



取締役会における監督機能の充実を目指し、戦略的意思決定の強化とスピードアップを図り、ガバナンス改革を促進

3. 内部統制機能の強化

現状総括

最終年度課題

(1) 取締役会の監督のもとでの、実効的な内部統制システム構築・運用

内部統制システムの整備・運用、重点対策リスク・危機管理体制の見直し実施済

情報管理体制整備

(2) 企業風土の改革

(3) 情報の報告・連携の強化

(4) コンプライアンス強化活動の推進

経営方針の見直し、行動理念策定、企業理念が浸透するための対話（拠点長会議・職場行脚）の継続。企業風土改革のモニタリング、学習機関、適正法令遵守の状況の点検、「品質の日」制定

浸透・定着のための対話の継続、反復学習の継続、改革モニタリングの継続、「品質の日」取組継続

(5) 内部監査部門の強化

(6) 内部通報制度改革

内部監査部門強化（第3ラインによる第1・第2ラインの監査、監査結果の報告実行）内部通報制度強化、通報者保護、アクセシビリティ向上

実行継続

(7) 外部リソースの活用

専門人財の登用実施、外部サービスの利用実施

- 特別調査委員会の調査によって報告された不適切行為214件につきましては、2024年4月25日を持ちまして、すべての是正が完了しました。
- 安全性につきましても、すべてのお客様に説明のうえ、安全であるとのこと判断をいただきました。

説明状況	対象	説明済	(うち) ご了承済
お客様数 (延べ会社数)	4,106社	4,106社	4,106社 (100%)

(2025年3月12日付)

忌憚なく声をあげられる風土づくり（継続中）

● 拠点長会議の実施



実施者	社長・取締役
対象	拠点長（※）
目的	<ul style="list-style-type: none"> 忌憚なく声を上げられる風土づくり（直接声を上げる場） 経営者と拠点長の情報・意見交換 拠点長からの現場の現況報告 拠点長による職場への伝達（拠点長400名×20名/職場 = 8000名） 拠点長間の繋がり活性化
計画	200名/回 × 2回/月
参加人数	2024年度 3,003名 2023年度 3,637名 累計 6,640名

● 職場行脚の実施



実施者	社長・取締役
対象	従業員（拠点長除く）
目的	<ul style="list-style-type: none"> 忌憚なく声を上げられる風土づくり（直接声を聴く場） 経営者と従業員の直接対話 経営者の意思、熱意の伝達 従業員、職場実態への理解深耕 従業員間の繋がり活性化
計画	20名/回 × 400回 = 8,000 名
開催回数 参加人数	2024年度 63回 1,220名 2023年度 86回 1,542名 累計 149回 2,762名

※工場長、支店長、営業所長のほか、従業員20名以上の拠点については20名ごとに1名の代表者

- 再発防止の取組みの進捗状況につきましては、当社ホームページを通じて今後も継続的に公表させていただきます。
- 再発防止を着実に実施し、ステークホルダーの皆様の信頼回復にグループを挙げて取り組んでまいります。